



かさまの新しい顔づくり

友部駅南北自由通路・橋上駅舎等整備事業**○ まちの玄関口として**

笠間市は茨城県のほぼ中央に位置し、鉄道や高速道路などの恵まれた交通環境と地理的特性を最大限に生かした「文化交流都市づくり」を目指し、まちづくりを展開しております。

中でも、常磐線と水戸線の分岐点にあたる友部駅は明治28年に開業し、通勤、通学はもとより、県央地域の観光やレジャーの拠点として広く利用されてきました。

その広域交通の利便性から、改札口がある駅の南側を中心に市街地が広がり、友部地区の発展を支えてきました。

一方で、鉄道により分断された駅の北側は、駅に近接していながら土地利用が進まず、南北で市街地の形成に差が生じていました。

また、南口の駅前広場も駅利用者の増大により、朝夕の送迎時には駅前通りまで混雑するなど、安全面からも改善が求められてきました。



【雨の日の友部駅南口】

これらの課題を解消するため、旧友部町の総合計画において友部駅周辺地区を「拠点整備地区」と位置づけ、駅の橋上化、自由通路を核とする駅周辺整備を決定しました。

平成12年度には県都市計画課主催の「まちづくり講座」の対象地区として、友部駅周辺の将来像についての様々な意見をいただくとともに、平成13年度には学識経験者や住民代表、関係団体

の代表等で構成された委員会により、友部駅周辺の交通施設や土地利用のあり方などをまとめた「友部駅周辺整備構想」を策定しました。



【友部駅周辺整備イメージ】

○ まちづくり交付金の活用

本事業では国土交通省所管の「まちづくり交付金」を活用し、主要施設となる駅自由通路と橋上駅舎のほか、南北の駅前広場や北口のアクセス道路などの整備を進め、交通結節点である駅の改善と利便性の向上を図ります。

また、駅北側の南友部地区では、地区の環境改善や土地利用の誘導を図るための地区計画を定めています。

《整備概要》

◇友部駅南北自由通路

幅員	5m
延長	約83m(鉄道上空部分)
附帯設備	エレベーター 2基 エスカレーター 4基 公衆トイレ(多機能トイレあり)

◆友部駅橋上駅舎

面積	約1420㎡
附帯設備	エレベーター 3基 エスカレーター 3基 旅客トイレ(多機能トイレあり)

◇友部駅北線(友部駅北口広場)

◇友部駅南口広場

◇県道杉崎友部線(歩道新設) など



○ 待望の開通！

主要施設のうち、友部駅南北自由通路と橋上駅舎については、平成16年度よりJR東日本水戸支社へ施工委託を行い、工事を進めてきました。

そして、去る3月4日（日）に本体工事が完了し、供用開始の運びとなりました。

式典当日は晴天に恵まれ、国県関係者や関係団体、関係地権者の方々をはじめ、多くの市民の皆さんにお集まりいただき、テープカットやくす玉開被のあと、地元大原小の金管バンドを先頭に、駅南北地区の親子三世代による渡り初めを行いました。



【渡り初めの様子】

○ 人にやさしい施設づくり

友部駅周辺地区は交通バリアフリー法に基づく重点整備地区に指定されていることから、施設づくりにあたっては、人にやさしく、便利で快適な空間となるように心がけました。

エレベーターやエスカレーターの昇降設備のほか、ベビーシートやオストメイトに対応した多機能トイレ、視覚障害者の方に配慮した音声誘導や触知案内板を備えております。



多機能トイレ

触知案内板



○ 笠間らしさの演出

自由通路の待合スペース内には、「四季」をイメージした笠間焼の陶壁や稲田石による壁面装飾を行い、笠間の玄関口としてのイメージアップを図っています。



【自由通路の待合スペース】



【南北をつなぐ通路】

○ 今後のまちづくり

今後は、駅周辺施設（南北の駅前広場、駅アクセス道路）の整備を引き続き進めるとともに、本事業を契機として、新たな交流や地域の活性化を図るためのソフト面での施策展開が必要と考えています。

【お問合せ先】

笠間市都市建設部都市建設課

TEL：0296-77-1101

FAX：0296-78-0621

E-mail:kensetsu@city.kasama.lg.jp